

情報・システム研究機構経営協議会（平成28年度第3回）議事要旨

日 時：平成28年10月25日（火）10：00～12：00

場 所：情報・システム研究機構会議室

出席者：有川節夫委員、岡田泰伸委員、國井秀子委員、佐々木卓治委員、篠崎一雄委員、辻篤子委員、富樫茂子委員、保坂直紀委員、北川源四郎委員（議長）、藤井良一委員、桂勲委員、樋口知之委員、白石和行委員、喜連川優委員、野木義史委員、本位田真一委員、田村義保委員、仁木宏典委員、後藤寛委員

陪席者：

（理事）大山理事

（監事）鈴木監事、横山監事

（事務局）塩原事務局次長、小野寺総務課長、成田財務課長、田原 URAS マネージャー、笹島監査室長

（研究所）長谷川極地研・統数研統合事務部長、岩田情報研総務部長、能住極地研・統数研統合事務部共通事務センター長、中島遺伝研管理部長

議事に先立ち、議長より、本会の成立要件の確認があった。

議 事：

【審議事項】

（1）就業規則等の一部改正について

藤井理事より、資料1-1、1-2に基づき説明があり、審議の結果、教育研究評議会においても審議を行い、過半数労働者代表へ意見照会を行った後、役員会にて審議することが了承された。

（2）役員退職手当規程の一部改正について

藤井理事より、資料2-1、2-2に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

委員より、業績勘案率の他機関の状況等についての質問及び意見があった。

（3）「施設・環境整備計画」について

藤井理事より、資料3に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

（4）平成28年度情報・システム研究機構補正予算（一般経費）について

藤井理事より、資料4に基づき説明があり、審議の結果、役員会にて審議することが了承された。

委員より、施設整備計画については、機構としてより長期的な計画を建ててはどうかとの意見があった。

【報告事項】

(1) 次期機構長候補者の決定について

北川機構長より、資料5に基づき報告があった。

藤井理事より次期機構長候補者として挨拶があった。

(2) 早期退職規程（案）の修正及び運用について

藤井理事より、資料6-1～6-3に基づき報告があった。

(3) 財務状況の解説について

藤井理事より、資料7に基づき報告があった。

(4) 平成29年度概算要求状況の伝達について

藤井理事より、資料8に基づき報告があった。

(5) 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価
ヒアリングについて

大山理事より、資料9-1～9-3及び机上配布資料に基づき報告があった。

(6) 外部評価の状況について

大山理事より、資料10-1～10-4に基づき報告があった。

(7) 研究所活動報告（国立情報学研究所）

喜連川所長より、机上配布資料及び投影資料に基づき報告があった。

引き続き、この活動報告を中心に自由討論が行われた。

【自由討論】

データサイエンスに係る教育面からの支援等について活発な議論があった。

- データサイエンスを意味するいろいろな言い方があるので、言葉を統一してはどうか。

→ 「データサイエンス」という言葉に収束しつつあると思う。

- 数理・データサイエンスの教育について、引き続き力を入れていただきたい。

→ 数理・データについて、昨年度辺りから文部科学省の対応が充実してきており、良い流れができつつある。データ基盤をいかにつくるか。この3年間で学問の構図が大きく変化してきた。情報研の役割として、研究者を守るため研究データ基

盤の共有化を進めており、概算要求につなげられればと考えている。

→ データサイエンティストの育成は、そのドメインの者を育成していろいろな分野や方面に送り込むというだけでなく、ドメインのある者を受け入れて育成することもあり、基本的には双方向であると認識している。現在のところ、特に後者はまだ小規模であるので、スケール化する必要は非常にあると思う。

● 統数研の名前もよく出てきている。総研大のメンバーという立場をうまく使いながら、後継者や教育者を育成し定着させていくことがここ数年間にやるべき大事なことであろう。研究のみならず、教育にも力を注ぎ、裾野を広くすることに取り組むべきではないか。理解者は産業界も含め非常に多い。

● 大学図書館関係者は、目録データベース構築などで国立情報学研究所とつながりを持っていることを嬉しく思っており、関係者全体がよい機運になっており、ネットワークに関しても同じようなことが起こっていると認識している。これは簡単には得難いものすごい財産だと思う。

● トップエスイーの教育は、経産省所管の IPA（情報処理推進機構）等との省庁横断型の活動が重要ではないか。

→ IPA とは協定を締結し、継続的に連携をしている。

● CPS（サイバーフィジカルシステム）の研究など、IT における研究や教育に投資をしてはどうか。

→ 最終的にはソフトを作ることが大事。CPS 等の新たなこともきちんと学んでいくことが必要なので、トップエスイーの教育にも取り入れている。

・ 前回議事要旨（案）については、特段の意見はなく、原案のとおり了承された。

・ 議長より、大学共同利用機関シンポジウム 2016 について案内があった。

・ 議長より、同日午後で開催される教育研究評議会において、国立遺伝学研究所の所長選考が行われた後に、12月1日付けの理事選考の報告が行われる予定であり、その結果についてはメールにて各委員に報告する旨の連絡があった。

(次回の経営協議会の日程について)

・ 次回の経営協議会は、1月24日（火）10：00から開催の予定。

以上

《配付資料》

- ・ 前回議事要旨（案）
- ・ 就業規則等の改正事項（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 1－1】
- ・ 就業規則等（新旧対照表）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 1－2】
- ・ 役員退職手当規程の一部改正について（案）・・・・・・・・・・【資料 2－1】
- ・ 情報・システム研究機構役員退職手当規程（新旧対照表）・・・・・・・・・・【資料 2－2】
- ・ （第 3 期中期目標期間における）情報・システム研究機構 施設・環境整備計画（案）
・・【資料 3】
- ・ 平成 28 年度補正予算（一般経費）について・・・・・・・・・・【資料 4】
- ・ 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長候補者の決定について・・・・・・・・・・
・・【資料 5】
- ・ 早期退職規程（案）の修正及び運用について・・・・・・・・・・【資料 6－1】
- ・ 情報・システム研究機構職員早期退職規程（案）・・・・・・・・・・【資料 6－2】
- ・ 早期退職制度の運用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 6－3】
- ・ 財務状況の解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 7】
- ・ 平成 29 年度国立大学法人運営費交付金概算要求の伝達について・・・・・・・・・・【資料 8】
- ・ 評価ヒアリングについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 9－1】
- ・ 評価ヒアリング資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 9－2】
- ・ 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構の平成 27 年度に係る業務の実績に関する
評価結果（原案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（机上配付）
- ・ 外部評価の実施について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 10－1】
- ・ 外部評価委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 10－2】
- ・ 情報・システム研究機構外部評価規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 10－3】
- ・ 情報・システム研究機構外部評価実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 10－4】
- ・ 研究所活動報告（国立情報学研究所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・（机上配付）
- ・ 平成 27 事業年度に係る業務の実績及び第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する
報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料 9－3】